

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
32	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	観光協会、商工会に加入し、地域振興のために協働している ・住民優待デーを設けて地域に貢献している ・軽井沢検定の奨励 ・ISO55001AMS4.2に基づき、ステークホルダーのニーズを捉え、業務PDCAプロセスを確立している→出展:AMSマニュアル2-3														4	9	11	12	14	15	17			
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域のボランティア活動(除雪、清掃)に参加している ・軽井沢エコリズム委員会に参画し、地域振興に取り組んでいる																			11	14	15	17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	・観光資源として信濃路自然歩道を積極的にPRし、有効活用している																							
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	・ISO55001AMS4.1に基づき、経営理念と組織目標を整合し、社内掲示で共有している→出展:AMSマニュアル3-1																							
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・親会社の行動倫理要綱に従い、社内研修を行い社内浸透を図るととも、懲戒規程を定め対処している。																							
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・親会社のISO14001に準拠し指導を受けて、総務部が環境影響評価を実施し対応している																							
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・ISO55001AMS4.2に基づき、ステークホルダーのニーズを捉え、業務PDCAプロセスを確立している→出展:AMSマニュアル2-3 ・HPの開合せ窓口および、本社事務所の電話で意見・苦情を受け付け対応している																							
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・ISO55001AMS6.1に基づき、リスクアセスメントを実施し、業務PDCAプロセスを確立している→出展:AMSマニュアル4-3																							
40		【社会的責任】 ・CSR(Gorporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・ISO55001AMS4.1に基づき、社会貢献を内部・外部の課題およびステークホルダーのニーズと捉え、社会貢献のPDCAプロセスを確立している→出展:AMSマニュアル2-2、2-3																							
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・事業継続(BCP)マニュアルを策定している 風雨等、噴火、感染症に対する対応計画を決めている																							
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・ISO55001AMS1に基づいて運用することで、施設の長寿命化を含む持続可能な道路運営を実施している																								

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
我々は観光道路運営会社として、地域周辺環境へ調和しながら自然災害に対応する施設を運営する	ISO55001を取得(施設の計画的改修)			3.6						9				13		15		
地域との共存と連携	地域からの雇用 軽井沢検定推奨 夏-冬イベントの開催				4				8			11						
全ての人々へ対応した観光道路の整備	HPの他言語化、看板標識の他言語化				4						10							

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関・国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)